

〇〇 家のマイ・タイムライン	家族構成 父 〇〇 太郎 75 母 〇〇 花子 78 妻 〇〇 良子 40 長男 〇〇 春夫 12	周囲の状況 ・車2台(富士夫と良子が使用) ・花子が避難する際は支援が必要 ・三芳町に避難できる親戚がいる。
経路 3日前前 2日前前 1日前前 0時間前	雨・風が時間とともに強くなる	
警戒レベル 1 相当 2 相当 3 相当 4 相当 5 相当	大気汚染 大雨警報 洪水警報 高齢者等避難 避難指示 緊急安全確保	
事前確認事項	事前確認事項	事前確認事項



「マイ・タイムライン」で 避難行動の第一歩を

大雨や台風などで水害の危険性が高まった際、自身や家族のとるべき行動を平時に決めておくことは、いざというときに落ち着いて行動するために重要なことです。

マイ・タイムラインは、台風などによる災害の警戒レベルに応じて、住民一人ひとりの避難行動をあらかじめ決めておく防災計画です。まずは居住地の水害リスクを知り、どのような避難行動が必要か、どのタイミングで避難すべきかを自身や家族の状況に即して考えてみましょう。また、マイ・タイムライン作成後も予行練習として実際に行動し、想定外の問題がないか検証することも大切です。

もしもの備えは、被害の防止や軽減につながります。大切な命を守るためにできる最初の第一歩、マイ・タイムライン作成から防災を始めてみませんか。



マイ・タイムライン



大切な命を守る一歩 もしもに備えよう

図 危機管理課 ☎049-256-7962

警戒レベルに応じた避難

【警戒レベル1】 早期注意情報 (気象庁から) ▶災害への心構えを高める	【警戒レベル2】 大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁から) ▶自らの避難行動を確認	【警戒レベル3】 高齢者等避難 (自治体から) ▶危険な場所から高齢者などは避難	【警戒レベル4】 避難指示 (自治体から) ▶危険な場所から全員避難	【警戒レベル5】 緊急安全確保 (自治体から) ▶命の危険 直ちに安全確保
気象情報などの災害情報を確認し、災害への心構えや避難に備えた準備・確認を行いましょ。	避難に時間のかかる方は、危険な場所から避難しましょう。	警戒レベル4までに必ず危険な場所から全員避難しましょう。	安全な避難が難しい状況です。命を守るための行動をとりました。	

▶ 災害情報の取得手段

【市ホームページ】 警戒レベルや避難所情報などを詳しく掲載します。	【富士見市防災メール】 警戒レベルや避難所開設情報などを配信します。	【埼玉県防災情報メール】 気象警報や地震などの防災情報が配信されます。
【富士見市公式SNS】 X(Twitter)やLINEで避難所情報などを配信します。	【防災行政無線電話応答サービス】 防災行政無線を聞き逃した場合、電話で放送内容が確認できます。 ☎049-265-3030	

多発する豪雨への備えを

台風や大雨は、毎年大きな災害を各地でもたらしています。近年では局地的な大雨(ゲリラ豪雨)も多発し、雨による被害が増えています。今年も、台風第6号が沖縄県を通過後に再接近し、線状降水帯も発生するなど約1週間にわたり大雨の影響が続く、停電や断水、土砂崩れや浸水などの被害が相次ぎました。また、台風第7号は西日本を中心に大雨となり交通機関の運行に支障が出たほか、大雨特別警報が発表された鳥取県では孤立世帯の発生や断水などの被害が発生しました。災害に對し最も高い警戒レベルの緊急安全確保が発表されるなど、大雨は命の危険につながる可能性があります。

本市は荒川・新河岸川・柳瀬川が流れる自然豊かな市である一方、自然の脅威にさらされ、浸水などの被害を受けてきました。過去の教訓から、多くの命を守るためには自治体の支援(公助)だけではなく、一人ひとりの防災意識や行動による自助・共助が大切です。

市では、災害の疑似体験をすることで防災意識の向上を図るため、富士見市総合防災訓練を実施します。この機会に改めて防災について考え、もしもの備えを行いましょ。

【Yahoo! 防災速報アプリ】 市町村登録により気象情報、避難情報などが通知されます。	【テレビで情報入手】 リモコンの「dボタン」を押して表示されるデータ放送画面から、情報入手できます。	川の情報をライブ配信 砂川堀や新河岸川の最新の状況を、インターネットで確認できます。
【Yahoo! 天気・災害】 気象・災害情報、河川水位情報が確認できます。		川の防災情報 (埼玉県)

家庭での備え

非常用持出品の準備

- 非常用持出袋
- 現金・カード
- 健康保険証
- 通帳・印鑑
- レインコート
- ヘルメット
- モバイルバッテリー
- 常用薬
- マスクなどの感染症対策用品
- 1日分の食料(水、非常食、かんぱん)

備蓄品の準備

- 飲料水・生活用水…3日分の飲料水
- 食料品…3日分の食料(レトルト食品、缶詰、箸、紙皿・紙コップなど)
- 医療品…救急用品、使い捨てカイロ、はさみなど
- 停電への備え…予備の電池、懐中電灯など
- 衣類・衛生用品…衣類、トイレトーパー、ウエットティッシュ、タオル、歯磨き用品など
- 情報…携帯電話、ポータブルラジオなど
- 燃料の備え…固定燃料、ボンベ、卓上カセットコンロなど
- そのほか…寝袋、筆記用具など



場所 / 入間東部地区事務組合東消防署

10月15日(日)

総合防災訓練

午前10時～午後1時

※小雨決行



▲詳しくはこちら

Q 避難所はどこ？

被害状況に応じて、災害現場近くの公共施設に「避難所」を開設します。あらかじめ避難する避難所を2か所以上確認しておきましょう。



Q 安否の確認・登録は？

▶ NTT 災害用伝言ダイヤル (171)

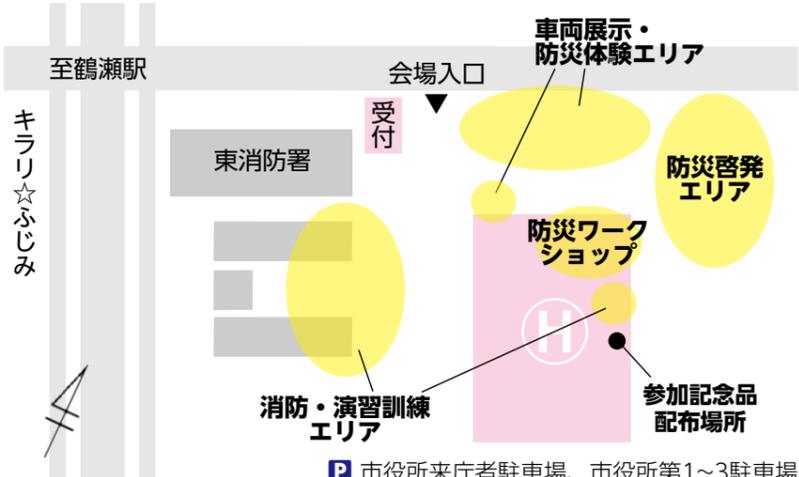
災害時、指定の電話番号あてに音声(安否情報)を録音することができ、どこからでもその録音を聞くことができます。

▶ NTT 災害用伝言板(web171)

パソコンやスマートフォンなどから、電話番号を入力して伝言(安否情報)の登録、確認ができます。



総合防災訓練会場図



市役所来庁者駐車場、市役所第1~3駐車場

10:00	開会式	
10:15	体験型訓練	自衛隊カレー炊き出し、小学生防災ポスター展示、消防・警察・自衛隊車両展示、各種防災啓発ブース、地震体験車、水圧扉・水路歩行体験ほか
12:00	演習訓練	市、消防、警察、協定締結団体などによる演習
12:45	閉会式	

防災訓練を通じて 自助・共助力を高める

富士見市総合防災訓練とは、市と関係機関が連携した4年に1度の大規模な訓練です。防災について子どもを含め誰でも楽しみながら学ぶことができるように、訓練会場ではさまざまなイベントが行われます。

体験型訓練では、前回関心の高かった降雨体験車による集中豪雨体験や浸水時の扉の開けにくさを実感できる水圧扉体験のほかにも、VRでの災害体験など新しい体験が加わり、より多方面から防災に触れることができます。

演習訓練では、市・消防・警察・協定締結団体などが連携して災害時の実演を行います。市と企業の災害協定により、ドローンでの空中撮影、バスや民間救急車による避難なども導入されます。また、救出活動や救助犬の捜索活動、医師会の応急手当、町会や中学生の消火活動に続き、最後は消防車両からの一斉放水で締めくくります。

今年は大正12年の関東大震災発生から100年の節目を迎えます。訓練を通じてさまざまな災害の想定を実体験し、市民、地域、行政が一体となって防災力を高めましょう。記念品に防災備蓄品も用意していますので、防災に触れる機会として、訓練にぜひご参加ください。

INTERVIEW 「いざというときのために日頃からの備えを」

入団のきっかけは、子育てがひと段落して地域に貢献できることを探していたときに見た広報の消防団募集の記事でした。消防訓練や啓発活動のほかに、消防署が行う救命講習で指導しており、参加者から「来てよかった」と声をかけてもらえることが嬉しいです。最近さまざまな自然災害が発生しています。いざというときのために、日頃から災害への備えや避難行動の確認をしましょう。訓練には一人でも多くの方に参加していただき、災害時の連携を強化する機会にしてほしいです。

富士見市消防団 菅原 史子さん

